



白金の丘

明治学院中学校・高等学校同窓会 白金会会報誌

発行
白金会
編集
広報委員会

明治学院中学校・高等学校 同窓会からのご報告とお願い

明治学院中学校・高等学校同窓会

白金会 会長

高橋 敏 幸

(1968年卒)



同窓会会員の皆様におかれましては、2024年は

いかがお過ごしでしたか？

2020年からコロナコロナで明け暮れた暗い日常から抜け出し、2023年3月13日以降は本人の自己判断でマスク着用から解放はされましたが、2024年はインフルエンザの流行とまだ心配な面もありました。と言うこともあり、相変わらず、白金会ではマスク着用での会議にしています。

【白金会執行役員会】

白金会では今年もマスク着用で執行役員会を行いました。執行役員会は2024年4月1日から2025年3月31日までに11回開催しました。そのほか特別委員会として3回開催しました。

また、3か月に1回徳永校長先生と打ち合わせを行いました。学校側で用意してくれているレジメに沿って分かりやすく校長から高等学校の現状の

説明をお聞きしています。随分と前から気になっていた在校生の家庭事情などもお聞きし、同窓会がもっと支援できないかと強く感じていた1年でした。今年度から学校と適切なルールを決めて在校生支援を行っていきたいと考えています。また、卒業生の方々のお力添えもいただくことになると思いますので、よろしくお願いいたします。

昨年は軟式野球部が大いに活躍したこともあり、白金会では同窓生に協力をお願いして野球部の支援を行いました。同窓生からの支援には感謝いたすとともに、この場を借りまして御礼申し上げます。継続して毎年、生徒会支援は行っております。

【年度役員会・総会開催について】

2025年1月にチャペルの予約が取れず、3月22日に開催となりました。ご理解のほど宜しくお願い致します。

昨年同様2部構成にさせていただきます。当日は、午前中に年度役員会を開催。年度役員会には13名の役員と監事2名が出席し、委任状については10名の方々から送られてまいりましたので、総数23名となります。現在の年度役員は25名なので、委任状を含め3分の1以上の出席と認められ年度役員会は成立いたしました。(白金会会則第10条第5項より、年度役員会の成立には、委任状を含め年度役員の3分の1以上の

出席を必要とする。)

議案については①2023年度の活動報告 ②2023年4月1日から2024年3月31日までの収支報告

③監査報告 ④2024年度の活動事業計画 ⑤2024年4月1日から

2025年3月31日までの予算案報告を行いました。議案については①②③

④⑤とも審議され出席者全員の賛成を頂き議案は承認されました。(白金会

会則第10条7項より、年度役員会の議決には、委任状を含め年度役員の2分の1以上の賛成を必要とする。)

【還暦記念礼拝・卒50周年記念礼拝について】

毎年1月にチャペルで行われていた卒50周年祝い記念礼拝と還暦祝い記念礼拝がチャペルの予約が取れないこともあり、暖かくなる3月開催に変更いたしました。今年は昨年同様、3月22

日2部構成で開催いたしました。午前中に年度役員会を開催し議案成立した後、13時半からチャペルにおいて今年

は卒50周年、還暦、卒寿、傘寿、W成人(40歳)の方々をお祝いする記念礼

拝が行われ、徳永校長から礼拝終了後、賛辞を頂き、校歌を歌い終えた後、懇

親会会場(高等学校食堂)に移り、各々テーブルに分かれ昔話に花を咲かせて

していました。今回、参加者の最高年齢者は97歳の大先輩です。しっかりした

足取りで昨年に続き参加していただきました。相変わらず現役で仕事をなさ

り、平日は自宅の雪谷からバスで事務所のある田園調布まで通勤し、土日は

テニスを楽しんでいるとのこと。当日も、午前中にテニスを楽しんだからの出

席。いつまでもお元気でお過ごしいた

だきたいと思います。また、卒寿を過ぎ

た先輩も3名参加していただきました。皆さんお元気であられる限りです。傘寿の方々もグループで参加いただきました。病氣一つしたことがないと素晴らしい生活を送っていられた

【卒業式・入学式】
さて、今年は3月10日午前9時30分から「第77回明治学院高等学校卒業証書授与式」が行われました。
来賓として祝辞を述べさせていただきました。

無事、308名の学生が夢と希望を持ち巣立って行きました。今年の卒業生は入学時にはプレハブ校舎での授業でしたが、その年に新校舎での生活が送れたことは良かったです。今年も卒業記念品として好評を得ている①MGマーク入りスプーンセット②MGマークにチャペルを絵柄とした大きめのトートバック③チャペルなどを撮り入れた3枚セットのクリアファイルの3点を卒業記念品として贈呈いたしました。(なお、入学式は4月7日9時から行われました。)

今後はホームページ上において同窓会イベント情報を発信いたしていきますので、ご覧ください。

2025年度もどうか皆様、お体にお気を付けの上ご自愛ください。

2026年春、皆様に元気にお会いできることを楽しみにしております。

2025年度もどうか皆様、お体にお気を付けの上ご自愛ください。

2026年春、皆様に元気にお会いできることを楽しみにしております。

【白金会収支計算書報告について】
今まで、決算報告について年度役員承認を得ての報告であったが、1年のずれが生じての掲載でありました。今年度から、監査を受けて監事からの承認を得ることにより会報誌への掲載報告をさせて頂くように執行役員会及び監事の了承を得ましたので本年度から会報誌に年度報告をさせて頂きます。



オルガニスト堀切先生によるパイプオルガンの説明



徳永校長先生で挨拶



白金会礼拝



2025年1月16日(木)に新橋駅近くにある中国料理「新橋亭(しんきょうてい)」にて徳永校長先生、田浦先生などをお招きし、白金会新年会を行いました。
各参加者の明治学院高校、明治学院大学などの思い出話に花が咲きとても楽しいひと時を過ごしました。

「白金会新年会」



後列左から、白金会岡岡総務委員長、平木監事、田中副会長、畑副会長、安田監事、田浦先生、荻原副会長、小島職員
前列左から、加藤役員、柏井役員、徳永校長先生、高橋会長

収 入		支 出	
初年度会費	3,696,000	会報誌発行費	2,158,046
年会費	501,000	年度役員会・総会開催費	99,847
賛助金	437,000	委員会活動費	266,908
懇親会参加費	56,000	事務用品費	50,006
雑収入	167	交際費	135,986
		通信費	153,071
		ホームページ作成費	29,700
		会員名簿整備制作費	462,315
		在校生支援費	50,000
		卒業記念品費	0
		特別記念品費	286,000
		雑費	0
		振込手数料	57,167
		予備費	
小計	4,690,167	小計	3,749,046
前年度繰越金	2,450,219	次年度繰越金	3,391,340
総計	7,140,386	総計	7,140,386

(2024年4月1日～2025年3月31日)

【明治学院中学校・高等学校同窓会
(白金会) 収支計算書

(単位:円)

収 入		支 出	
初年度会費	3,588,000	会報誌発行費	2,088,015
年会費	459,000	年度役員会・総会開催費	115,490
賛助金	407,000	委員会活動費	323,197
懇親会参加費	0	事務用品費	169,810
雑収入	13	交際費	21,311
		通信費	174,648
		ホームページ作成費	34,100
		会員名簿整備費	443,058
		会員名簿製作費	70,272
		振込手数料	51,201
		在校生支援費	265,400
		卒業記念品費	673,750
		特別記念品費	0
		雑費	0
		予備費	0
小計	4,454,013	小計	4,430,252
前年度繰越金	2,426,458	次年度繰越金	2,450,219
総計	6,880,471	総計	6,880,471

(2023年4月1日～2024年3月31日)

【明治学院中学校・高等学校同窓会
(白金会) 収支計算書

(単位:円)

「明治学院の思い出」

市川 光弘
(1956年卒)

この度、中学高校大学と同期で野球部同僚の荒木隆光氏より電話をいただき、明治学院中学・高等学校の当時の事柄について同窓会誌に掲載する記事の執筆を頼まれましたので、八十七歳の頭に残っていることなどの一部について、書いてみたいと思います。

第二次世界大戦後間もないころでしたので、生活も大変な時期だったと思いますが、母親の実家が、母の母校でもある頌栄女学校（弦・頌栄女子学院中学校・高等学校）の近くにあり、戦後我々もその近くに住むようになった縁で、私は明治学院に入学しました。小学校のころから野球をして遊んでいたもので、迷うことなく野球部に入学しました。

校門に入ると左側に大学の校舎、その先にチャペルが見え、右側にテニスコートと食堂などがあり、少し坂を上がると記念樹とチャペル、島崎藤村作詞の校歌の石碑がありました。そして高校・中学の校舎があり、少し下ったところに運動部の部室、体育館がありました。グラウンドの奥には外国人教師の家があったと思います。その並びに建築物としては有名な図書館があり、そのような建築物に囲まれた内側に砂利が混ざった小さなグラウンドがあり、そこが皆で一生懸命に練習に励んだ校

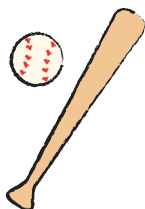
庭（グラウンド）でした。

中学校の三年間は記憶が少ないのですが、教室の窓からすぐ目の前で、高校野球部の投手のピッチング練習の姿を見ていました。その流れで中学を卒業するとすぐに呼ばれて高校の野球部に入部していました。

高校二年生の時には夏の全国大会の都の予選に四回戦まで進み、念願の神宮球場で試合をしました。対戦相手は京華高校で私はレフトを守っていました。二回か三回に大きなレフトフライが上がリ、真夏の青空に上がった白球を見失って一点を失い、結果「四対二」で敗戦した思い出が今でも残っています。

また三年次にはこんなことがありました。校庭を歩いているときに日下校長先生が近づいてきて、私の肩に手をまわし何か話しかけてきたことがありました。当時、運動部やその仲間内でタバコを吸っている生徒がいたので、何か様子を聞きたい、探りを入れたいということでした。私はタバコなど吸っていませんでしたので、ちよつと合点がいかなかった思いがありました。

私の明治学院中学校・高等学校の頃の思い出に強く浮かぶのは、荒木氏をはじめとした野球部の皆と過ごした日々です。そして東村山の広大なグラウンドでの大学野球部との合宿生活を送り練習をした日々は、私の心にいつまでも刻まれています。



日下校長先生を囲んで



左から、高橋、熊埜御堂、永井、市川、荒木の各氏



野球部時代

「学友たちと同期の集まり」

甲田 忠
(1953年卒)

1953年卒の私たちは同期会とは別に「三水会」と「銀座会」の二つの同好会があります。「銀座会」については、昨年の「白金の丘・第23号」に加藤泰弘君の「明治学院と学友たち」と高橋会長の後日談の中で詳しく語られています。また同号で柏井創君が「卒業後の集まり」の中で、毎月第三水曜日の夜、目黒に集う「三水会」と紹介されていました。が、「三水会」は夜の飲み会だけでなく、年間を通じて多くの行事や同期会に向けての名簿の整理や新名簿の作成まで携わっています。

石井満君、木々津俊次君、寺本明男君、平林栄一君の四人で始まった「三水会」は五反田から京急蒲田、浜松町の天ぷら「歌門」、そして目黒駅前久米ビルの「だいろ」に会場が移り、この店は個室有で便利も新型コロナで一時間閉会となりました。

コロナ後は目黒の「オフィス岡田」にて昼食会を行なっており、メンバーは岡田嘉之君、加藤泰弘君、平林栄一君とわたしの四人です。

初めての同期会と言える藤井先生の退職記念パーティーの際、1989年の少し前ごろに十五人会の東田成太郎君から「学友の名簿整理を始めているので何か資料があれば欲しい」との電

話があり、翌月おぼしき資料を携えて蒲田会場に久しき面々と会い交え、楽しい一夜となりました。

実際当時は、名簿の整理は徐々に進んでおり、この努力の成果がのちの同期会、1993年麻布狸穴町の東京アメリカンクラブ（恩師多数出席）、2005年大崎駅ビルのホール（恩師出席）、そして2009年の櫻井嘉雄君が発起人の高輪・和僵館の同期会が成功裏に終わることに繋がったと思っています。

名簿の整理と新名簿の作成に当たり尽力された編集委員長の東田成太郎君、監修委員の安藤進君、加藤泰弘君、柏井創君、作業担当兼名簿作成事務局長の岡田嘉之君、全員が「三水会」のメンバーでした。

【三水会の諸行事】

春 四月ゴルフコンペ

夏 ☆ 蓼科高原でのゴルフコンペ・観光

二泊三日

参加者は十五名から二十名

秋 十月ゴルフコンペ

冬 十二月初旬 バイオリストの蔵方夫人が在籍の「大田区立ハイドン室内管弦楽団」の定期演奏会

(約十年間)

十二月中旬 忘年会、湯河原温泉「春日荘」 参加者は十五名程度

後年は伊東温泉「品川荘」を常宿に、ゴルフコンペと観光で婦人方も参加いただき、二十名ほどの参加

☆夏の行事は特別でした、三井の森の山荘の提供とフォレストカントリーの

予約をしてくれた平林栄一君、コック帽の似合うシェフの料理に舌鼓、保養所「三建荘」を世話してくれた寺本明男君、二人の厚意があつてできたイベントでした。

隆盛だった諸行事も年齢とともに参加者が減少で閉会となりました。1990年〜2012年までの二十二年間、事故なく無事に終える事が出来ました。



左より甲田忠さん、柏井創さん、加藤泰弘さん、清水敬介さん、柳本茂さん

「私の趣味としての蝶の収集と研究」

柳 本 茂 (1953年卒)

1947年明治学院中学部に入学した1年生のころ、校庭の奥に理科教室があり生物担任の吉原幸二先生が顧問をされていた博物部(当時)に入室した。小学校(国民学校)のころから動物・植物が好きで昆虫、植物を採集したりしていたので、生物教室には動物や鳥の剥製標本がありトキなど鳥類やタヌキなどの動物類などもあり吉原先生の指

導もあつて嬉しい活動ができた。

高校生になり生物部に昆虫の同行者が集まり昆虫の採集や調査を近郊に出かけ標本の作成を競い合った。

1951年11月には理科教室での展覧会は昆虫標本が展示された。この時期競った友人たちとは卒業後も長い間交流が続いていた。

学校生活では中学1年から6年間朝礼に出席、先生方の訓話、説教をいただき精神的に気が付かないうちに成長できた事に感謝している。

明治学院大学商学部にて1953年入学、会計学を学びながら慶応、学習院の蝶の研究仲間と作った「京浜昆虫同好会」のメンバーと東京、神奈川の近郊の採集調査のデータを蓄積して「蝶類採集案内(東京・神奈川)」を1956年6月に出版した。

1957年10月には日本昆虫学会の創立40周年記念の「世界の昆虫展」が日本橋白木屋で開催され、当時在籍していたのでソ連邦(当時)と日本産の蝶とを交換した蝶の標本を展示参加した。この展示会には昭和天皇がご来臨ご高覧いただいた。

海外の蝶はその後日本の蝶を提供してチェコスロバキア、ブラジル、ガーナ、ペルー、オーストラリアの同好者と交換して各国の蝶が送られて、現在も大切に保管している。

当時は国内で蝶の採集の規制が少なく蝶友と北海道から信州、関西地域まで、学割を使って各地の採集地を調査採集ができたので多くの種類を収集できた。

1957年学業を終え、百貨店を主力とした繊維メーカー、ブルーミング

中西(株)に就職し、結婚を経て多忙を極めたため、蝶の収集研究を続けることが難しくなり、約30年間蝶との関わりは休止状態で過ごした。

その後1994年7月になって相模の蝶を語る会の友人から中国新疆ウイグル自治区の採集に誘われ、蝶の収集研究の糸口として、初めての海外採集旅行に出かけた。広大な砂漠と草原の北、モンゴルとロシア国境のハナス湖近くで見られた大陸の蝶の魅力に惹かれた。

1995年以降はモンゴルの草原の豊かな首都ウランバートル、テレルジ周辺、内陸の大草原、牛、羊の放牧地、美しい森林、圧倒されるフスグル湖の周辺、奥地のボタニー氷河近くまで、蝶友と蝶を追って8回夢中で過ごした。

1999年から3回は静岡昆虫同好会のメンバーとロシアへ行き、シベリア、ブリーヤードへはキャンプで資材を積んで採集した。2005年はロシア・マガダンの高緯度の山地で蝶を追いつつ、ウラジオストク、ハバロフスクにも立ち寄った。2006年はロシア、シベリア、アバカン サヤンスキー峠の2000m付近で高山蝶を採集した。

2009年は初めて東南アジアのタイ国チェンマイで南国の蝶を採集した。

現在、葉山町に60年居を構え、三浦半島昆虫研究会に所属していて蝶の調査採集は30年続けていてナガサキアゲハ、アカボシゴマダラ、ツマゲロヒョウモン、クロマダラソテツシジミ他数種の記録確認ができた。

横須賀市自然・人文博物館とは利用、研究の交換の関係を続けており、博物

館主催の「基礎から学ぼう昆虫学」参加の小中学生の成長に少しの手助けをしていて子供たちの成長を楽しみにしている。

長年にわたり収集した蝶は130箱余を保管している。今後横須賀自然・人文博物館に寄贈して保管と博物館の活用に資すればと学芸員と協議している。

「柳本茂さんへのあしがき」

2025年1月28日好天に恵まれた朝、卒寿を迎えられた大先輩の柳本茂さんにお会いするため、私は何十年ぶりかで逗子に向かいました。

ご自宅に招かれ、素晴らしい館には目を奪われました。旧石山賢吉さんの別荘を柳本さんの義理のお父様が購入され、柳本さんが結婚後譲り受けて現在もご実家として住まわれているとのこと。この自宅は本にも紹介されておられる歴史的にも貴重な建物です。築90年と正に建物も卒寿を迎えられていたのには驚きです。3・11の時もビクともしなかったとは流石です。

さて、柳本さんは中学・高校・大学と10年間、明治学院で学び、その後、1972年（明治12年）創業の中西儀平商店という有名ブランドハンカチーフやスカーフなどを扱う繊維メーカーに就職されました。（1985年（昭和60年）にブルーミング中西（株）と改称）1947年中学校に入学したところから小学校の時から興味を持ち始めていた昆虫の採集などにさらなる興味を持ち、

それが現在までも続いていることは凄いことです。柳本さんがお書きになっている中にあるように長年にわたって収集した蝶は130箱余りでご自宅に保管されています。（1万匹以上の蝶がその中に保管されているようです。）これだけのものを維持されていることは、まさに趣味の領域を超えて、学者的研究と言えるでしょう。脱帽です。

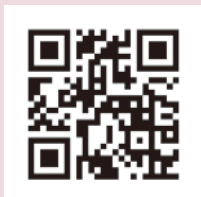
なお、長年研究収集した蝶や書籍研究物は横須賀にある博物館に寄贈する方向で話を進めているようです。

また、長生きの秘訣を垣間見た気がします。そこには明るい奥様の存在があるのだと思いました。奥様も88歳米寿になられるとのこと。ご夫婦で明るく楽しくお過ごしになることがダイヤモンド婚式を迎えられた証だと思えます。次は「プラチナ婚」「樺婚式」「ワイン婚式」を是非とも迎えていただきたいと思います。

（余談ですが、昨年の会報誌にも掲載していただいた柳本さんと同期の加藤泰弘さん、柏井創さん、今回掲載をお願いした甲田忠さん、清水敬介さんなど皆さん元気に卒寿を迎えられ月1度いまだに同期での食事を銀座で過ごしています。）
（記：高橋敏幸）



URL <https://mg-shirokane.com/>



白金会ホームページ QR コード

〒108-0071 東京都港区白金台1丁目2番37号
明治学院高等学校内 FAX:03-3634-0895

メールアドレス ※今年度からメールアドレスが変更になりました。
meigaku.shirokane@gmail.com

白金会の連絡先について

白金会ホームページおよび連絡先は、左記の通りです。





写真の送り主を探しています！



左の3枚の写真は、1年ほど前に白金会宛に送られてきた写真です。しかしながら差出人のお名前がなかったため、どなたから送られたのか不明になっています。各写真のタイトルは「右横書き」で記されているため、時期的には昭和初期から戦後頃の写真かと思われます。差出人の方は、5ページに記載の連絡先までご一報いただければ幸いです。

私の健康法 その11 思いつくまに (v)



明治学院中学校・
高等学校同窓会
(白金会)
監事 平木 巖
(1962年卒)

今回は、健康づくりのための歩き方
若々しい歩き方のすずめについて述べさ
せていただきます。

年を取るとだんだん肩や腰が曲がり、
歩幅が小さくなつて、みるからに年老い
たようにみえる人が増えてきます。私
もそうです。

せっかく、健康のためにウォーキング
をするのなら、若々しい歩き方をしま
しょう。散策を楽しむ時にわき目もふ
らずとはいかないでしょうが、健康づく
りには、少々息がはずむ程度の速歩が
ベターだと思います。

6点ほどの良い姿勢でのウォーキン
グスタイル(健康づくりのための歩き方)
①あごを引く。②胸を張り背筋を伸ば
す。③ひじを軽く曲げ、しっかりと振る。
④ひざを伸ばし脚はしっかりと伸ばす。
⑤歩幅はいつもより広めに。⑥着地はか
かとからで、つま先で地面をける。

ウォーキングシューズの選び方
どんな靴がよいかといえば、まず言
うまでもなく自分の足にあった靴が大原
則です。つま先がきつく感じたり、足の
幅がゆるすぎたりなどしないシューズを
選びましょう。自分に合った靴を選び
ましょう。

暑い日のウォーキング注意事項
熱中症の予防には水分補給とともに、

ミネラル補給も心がけましょう。のど
が渇いたと感じるまえに補給しましよ
う。

寒い日のウォーキング注意事項

風に注意しましょう。(寒い日は気温
ばかりでなく風に注意した防寒の準備
が必要です)重ね着で空気の層をつくり
ましょう。(空気こそ最良の断熱材です)

食後のウォーキング注意事項

食後のウォーキングはのんびりと、
食後はできれば消化吸収がおわるまで
心身ともにのんびりしているのがベスト
です。

ウォーキングの効果

スタミナアップ 体重や体脂肪率の
減少 血圧に対する効果 糖尿病への
効果 心臓病の予防効果 がんの予防
効果 死亡率の低下等と言われています。

私は活動的な毎日を送るための3つ
の目標を掲げています。

- ①1日7500歩を目標に歩く。
 - ②何でもよいので1日10分間運動を。
 - ③こまめにちょこちょこ立ち上がる。
- 若々しい歩き方をするを通じて、
真の健康と、よき人生を実現されるこ
とを願っています。



「オール明治学院同窓会と明治学院 大学校友会組織がなくなりました」

1903年明治学院第2代総理の井
深堀之助が初代会長として発足した長
い歴史のあるオール明治学院同窓会が
幕を閉じました。2006年に当時の
明治学院大学学長の大塩さんが初代会
長として設立された明治学院大学校友
会も明治学院同窓会とともに2024
年3月をもって解散いたしました。同
時に明治学院大学同窓会もなくなりま
した。

そのため、2024年4月から
2025年3月10まで明治学院同窓会
運営準備委員会ができ今後の組織につ
いて校友会と検討をしております。
その結果、2025年3月11日から「明
治学院大学校友会」という組織に生ま
れ変わりました。

ただ、校友会費は大学卒業時に大学
生から徴収することになる為(大学校
友会と変わらない)、明治学院大学学
友会が「大学の組織」(校友会会長は
明治学院大学学長となる)となり大学
の卒業生を対象にして統合されまし
た。その時の明治学院同窓会事務局が
2025年3月11日から大学校友会の
組織図を考えられて、その下に「中高
連絡会議」と言う会議体を考えている
ようでしたが、同窓会からその件に関
して当時相談もなく、まだ、新しい組
織になった校友会からのアクションも
ありません。明治学院高等学校同窓会
(白金会)(当時の坂仁高等学校校長の
呼びかけで、1998年に第1回
「Come Back to 白金」

が開催され、高等学校独自の同窓会組
織が立ち上がりました。その後、明治
学院中学校・高等学校同窓会と名称を
かえ現在に至っています。)がオール
明治学院同窓会の一員になった同じ時
期の2006年に明治学院大学校友会
が組織されました。明治学院同窓会が
その大学校友会傘下に入る形で、大学
校友会から活動資金提供を受け、同窓
会独自の会費徴収を止めてしまい、ま
た大学卒業時の名簿や今までの名簿管
理を校友会に渡してしまつたため、本
来の明治学院同窓会の役割ができな
かつたように思います。オール明治学
院校友会一本化構想がいつまでたつて
もなされなかつたため、2014年か
ら白金会(明治学院中学校・高等學校
同窓会)は明治学院同窓会から一時離
脱しております。今回の明治学院同窓
会、大学校友会、大学同窓会が消滅し
たことにより、現在では同窓会として
は明治学院中学校・高等學校同窓会(白
金会)、明治学院中学校東村山高高等
学校同窓会・テネシー明治学院高等部同
窓会が各校同窓会として活動をしてい
ます。今後とも皆様のご支援ご協力を
お願いいたします。

